

5 評価結果

(1) 最小事業評価

| 枝番号 | 事務事業 | 指標分析の推移、目標未達の原因 | 上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性 | 事業実施上の課題、改善点 |
|-----|-------------|---|---|---|
| 01 | 肝炎検診事業 | コロナの感染状況が少し落ち着いたこともあり、受診率は上昇傾向だった。 | 健康長寿社会の構築には、健康の維持・増進することが必要である。そのために健診・検診事業を行うことは妥当である。 | いかに関心を持ってもらうか、情報提供の方法を工夫していくことが必要である。 |
| 02 | 結核検診事業 | 学校・職場等の検診で胸部撮影をしていない者をフォローするための検診であるため、指標設定になじまない。 | 健康長寿社会の構築には、健康の維持・増進することが必要である。そのために健診・検診事業を行うことは妥当である。 | 正しい情報(感染経路・症状・抵抗力が低下していると感染しやすいなど)の提供を行っていく。 |
| 03 | 歯周病検診事業 | 他の健診と異なり毎年行う検診ではないことや、検診後治療をするためには別日に改めて受診する必要があることなどから、目標値を達成できていない状況が続いている。 | 健康長寿社会の構築には、健康の維持・増進が必要である。そのために健診・検診事業を行うことは妥当である。 | 歯周病検診の重要性を周知していく。健診機関において正しい情報(具体的なケア方法など)を分かりやすく提供していく。 |
| 04 | 後期高齢者健診事業 | コロナの感染状況が少し落ち着いたこともあり、受診率は上昇した。 | 健康長寿社会の構築には、健康の維持・増進することが必要である。そのために健診・検診事業を行うことは妥当である。 | 認知機能やフレイル予防など、今までの健診とは違う内容があることを分かりやすく伝えていく。結果を対面で伝え、家族も含めて共有し、継続指導が必要な場合には包括支援センターなどしかるべき機関につなげていく必要がある。 |
| 05 | 生活保護受給者健診事業 | 生活保護受給中である者を対象に行うものであるため、指標設定にはなじまない。 | 健康長寿社会の構築には、健康の維持・増進することが必要である。そのために健診・検診事業を行うことは妥当である。 | 健診結果を対面で医師から聞くこと、合わせて担当ワーカーも共有し、継続した健康管理ができるようにする必要がある。 |
| 06 | キット健診事業 | 健康状態を見える化することで、健康意識の醸成や受診につなげることが目的であることから、指標設定にはなじまない。 | 健康長寿社会の構築には、若年層からの健康づくりに関する意識の醸成が必要である。そのために健診・検診事業を行うことは妥当である。 | いかに関心を持ってもらうか、情報提供の方法を工夫していく必要がある。 |
| 07 | 一般事務経費 | — | — | — |
| 08 | | | | |
| 09 | | | | |
| 10 | | | | |

(2) 視点別評価

| | | |
|-----|-------------------------|---|
| 効率性 | 事業費の削減余地はないか | 1 事業費の削減余地はない |
| | 事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか | 3 外部化ができる事業はない |
| | 関連・類似する事業の統合はできないか | 3 統合できる事業はない |
| 妥当性 | 各事業の実施に対する市民ニーズはあるか | 1 市民ニーズは変わらずにある |
| | 民間によるサービスで代替できる事業はないか | 4 法令等により、市に実施が義務付けられている |
| 有効性 | 事業の上位施策に向けた貢献度はどうか | 1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である |
| 公平性 | 受益者負担は公正・公平か | ○.負担導入済 |
| | | ○-2 適正な受益者負担を導入している |
| 協働 | 市民等と協働して事業を展開しているか | △.協働未実施 |
| | | △-9 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、実施事業に協働はなじまない 鎌倉市医師会・歯科医師会など 協働実施済の場合のパートナー |

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

| | | | | | |
|---|-----------------------------|--------------------------------|--|-----------------------------|--------------------------------|
| 【今後の方針】 | <input type="checkbox"/> 拡充 | <input type="checkbox"/> 改善・変更 | <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 | <input type="checkbox"/> 縮小 | <input type="checkbox"/> 休止・廃止 |
| <p>「鎌倉市健康づくり計画」の目標である。市民の健康寿命の延伸、生活習慣病の重症化予防、早期発見・早期治療を推進するため、引き続き、健診の受診機会を提供していく。 また、受診率向上のための創意工夫は引き続きの課題である。</p> | | | | | |

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

| 指標(単位) | 肝炎検診の受診率(40歳無料クーポン券検診) | | | | | | 単位 | % |
|----------------------|------------------------|------|-------|--------|------|------|------|---|
| 指標設定理由 | 年次 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | |
| ウイルス性肝炎罹患の早期発見を目指すため | 目標値 | | 15.0 | 15.0 | 15.0 | 15.0 | 15.0 | |
| | 実績値 | 10.2 | 11.9 | 15.1 | | | | |
| | 達成率 | | 79.3% | 100.7% | | | | |

| 指標(単位) | 歯周病検診の受診率(20・24・28・32・36歳) | | | | | | 単位 | % |
|-----------------|----------------------------|------|-------|-------|------|------|------|---|
| 指標設定理由 | 年次 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | |
| 歯周病罹患率の低下を目指すため | 目標値 | | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 5.0 | 5.0 | |
| | 実績値 | 2.0 | 2.1 | 1.6 | | | | |
| | 達成率 | | 42.0% | 32.0% | | | | |

| 指標(単位) | 後期高齢者健診の受診率 | | | | | | 単位 | % |
|---------------|-------------|------|--------|--------|------|------|------|---|
| 指標設定理由 | 年次 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | |
| 後期高齢者の健康維持のため | 目標値 | | 33.0 | 33.0 | 33.0 | 33.0 | 33.0 | |
| | 実績値 | 31.4 | 33.6 | 34.5 | | | | |
| | 達成率 | | 101.8% | 104.5% | | | | |

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

| | | | | | | | |
|------|-------------------------------|-----------|-----------------|------------|---------|--------------|--|
| 比較事項 | 若年層(40歳未満)を対象とした健診・検診事業の実施自治体 | | | | | | |
| 団体名 | 鎌倉市 | 逗子市 | 三浦市 | 葉山町 | 綾瀬市 | 大和市 | |
| 内容 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | スマホdeドック・結核・歯周病・子宮・(乳房健康指導) | 子宮・骨粗しょう症 | 3039健診・結核・子宮・歯科 | 子宮・乳骨粗しょう症 | 子宮・乳・結核 | 結核・子宮・乳・女性健診 | |

| | |
|----------------------|--|
| 当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方 | 生活習慣病の予防は若年層(20代・30代)から始まっているため、自治体は一人でも多くの住民が健診・検診を受けられるために受診機会の提供が必要がある。近隣他市と比べて若年層への健診項目は充実している。受診率を引き上げるための取組を引き続き行っていく。 |
|----------------------|--|